



新開 則明議員

庁舎の耐震強度対策を問う

町長／政策・改善、新築で検討中

今回の庁舎の耐震診断業務報告で構造耐震判定指標0・7に、1、2、3階とも、東南方向、南北方向に達していない。特に2階は基準値の1／4程度しかなくもつとも危険を感じている。

災害対策本部は安全に設置できるのか。補強及

家入町長

改築、改善、新築で検討しているが、改築には

び改修の場合メリットはどう考えられるのか。改築や移転の構想が行政の要として必要ではないか。



大津町庁舎の耐震対策を

老朽化しているのでは新しい新築をしないといけないのではと思われる。大変お金も掛かることで十分財政的なことも考えなくてはいけない。

環境対策を問う

町長／環境測定局と排気ガス測定局で常時監視

大気汚染となる煙の調査や規制は、どのように実施されているのか。農業用に使用したビニールのリサイクルや処分はどのように対処しているのか、ごみ置場の規制や設置は、どのように進められているのか。

家入町長

県の環境測定局21局と自動車の排気ガス測定局3局で大気汚染防止法に基づく7項目関連等については、常時監視中。

町は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指導している。

農業用廃ビニールは無料で農協が回収し、処理は許可業者に委託。

ごみ収集保管関係では6万円を限度に1／2を補助。



側溝と外灯の整備（水源町）

側溝と外灯の整備

町長／消音性の側溝は2～3年前から採用

緊急性やその必要性あるいは投資効果という事業評価をしながら道路や側溝関係の計画を作り毎年それに従ってやっている。消音性の側溝は少し割高だが道路の幅員が狭い住宅地では今後も採用していきたい。外灯は3万円を限度として2／3を補助。球の取り替えや電気代は町負担。木の枝等は持主に相談をしなが

家入町長

側溝の新設・改修・清掃は地域住民に説明できているのか。民家の傍は、消音性の側溝を施工すべきではないか。外灯の設置箇所やさしかかる樹木の枝は、どう対処しているのか。



燃やされる農用資材



月尾純一朗議員

高齢人口の増加に伴い、認知症になる人も増加する。高齢者の認知度の変化について、読み・書き・計算のドリルという脳トレが認知症の予防に効果があり、医療費の削減にもつながるという研究成果が発表されている。

①認知症予防対策として大津町で取り入れる考えはないか。②脳トレで著名な大学教授を招いて健康セミナーを行う考えはないか。

家入町長

町の介護認定調査において、認知症高齢者の日常生活自立度の実態は多くの方になんらかの認知症の症状が現われているようだ。役場で相談事業もしているがどこまで相談できるかという問題がある。大津町では、平成

脳トレ・ニングで 認知症予防を

町長／地域包括支援センターを
心に取り組む

19年3月、高齢者大学に41名参加されている。また、住民に認知症を理解してもらうことを目的とした、認知症サポーター養成講座を実施している。これは、認知症の人を介護されている方の体験談を交えながら、講義形式で開催している。

認知症はやはり周囲の理解と早期発見で、その進行を緩やかにできるものと考えている。認知症に対する住民の理解が大

事という観点から、健康セミナーの開催は必要であると思う。また、認知症予防対策の脳トレの方法については、今後、地域包括支援センターの重要な業務として、養護者・家族をはじめとする住民に対する、認知症、高齢者やその介護方法に関する知識の理解の普及啓発に取り組んでいきたい。大学教授等の要請については研究、勉強していきたい。

1月21日開所した
地域包括支援センター

いじめの温床「学校裏サイ ト」の実態と対策を問う

教育長／早期発見、早期対応が大切

文部科学省が先般、公表した問題行動調査では、学校でのいじめが2006年度は、前年の6倍以上に増えたほか、学校裏サイトの使用など、初めてネットいじめの件数も

報告された。特に子どもたちを自殺まで追い込む深刻ないじめもあるという。①大津町でのいじめの実態を問う。②学校裏サイトの実態調査は行っているか。

宮崎教育長

町教育委員会では、6月に「いじめ根絶月間」を設けて、昨年度作成した「命を大切にする緊急アピール」の配布や、いじめつ子根絶の標語募集、また生涯学習情報誌での

下水道事業について

町長／公共下水道との連結を推進

①下水道整備は、大津町が標榜する自然環境という観点から、全てに優先して進めていかなければならない事業。②町営

住宅で下水道施設が未整備で、風呂の水や台所の水等、生活排水が河川へ垂れ流しになっているところはないか。

啓発活動等も実施してきた。現在、深刻ないじめの報告は上がっていないが、早期発見が一番大切だと思っている。

大津町の中学校でも裏サイトはある。特定の生徒と判断できるような誹謗中傷が書き込まれていたのが、4、5件あった。町内の中高連絡会を年に2回開催している。その中で、裏サイトについての資料を各学校に配布し、話し合いをもっている。

大津中では、大津警察署の署員を講師として招き、裏サイトの情報、モラルについて、授業参観の折に研修した。

家入町長

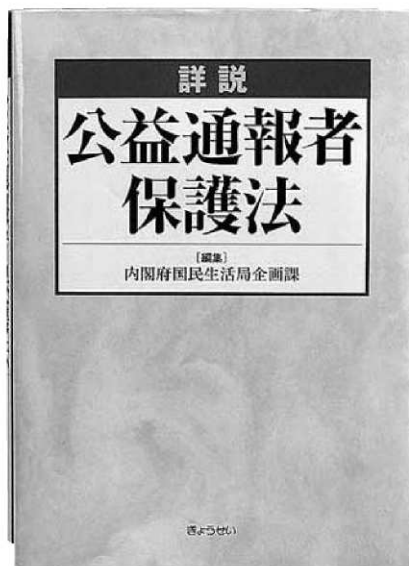
上井手と周辺の住宅の下水道関係について環境保全の点から今後調査をしていく。一般家庭において公共下水道と連結していないところの推進をしている。立石団地については、現在88戸あるが、平成20年度から屋根や外壁等の改修を行い、下水道接続も同時に進めていきたい。



永田 和彦議員

あきれた事件が多すぎる

町長／通報窓口は総務課で対応
教育長／義務教育は社会人への基本



内部告発者を保護する「公益通報者保護法」

防衛利権を巡る贈収賄事件や賞味期限の改ざん、虚偽表示など連日あきれた事件が報道等で流れている。金儲けや名誉を手にするためならば、嘘をついても世間にわからなければいいという自分勝手な企業や政治家が後を絶たない。事件の経緯、発覚の仕方はわからないが、内部告発による通報が一番重要な要素と思われる。正義の内部告発者が不利益を被ってはならない。だからこそ内部告発者保護制度が必要だ。また政治倫理に関する条例、不当要求行為等の防止に関する条例等では未

然に防ぐ体制にはほど遠い。事件を未然に防ぐシステムの確立を求める。また教育の役目とはなんだろう。「自分さえ良ければいい」とか「赤信号みんなで渡れば怖くない」というような公衆道徳欠如が事件に通じる感が否めない。なぜ義務教育があるのかを問いたい。

家入町長

内部告発者保護制度が平成18年4月から施行され公益通報者保護法として行われており、不正情報を提供してくださる人は保護しなければならぬ。職員の法令遵守に関

宮崎教育長

する関心が高まったという。ような報告も受けていて、通報窓口関係等も19年3月末現在全国の町村では約29%が設置しており通報処理は0件となっている。大津町においては、総務課の方で職員の倫理関連等についてしっかりと指導をしている。

私も、今の国民の間に見られる倫理観の欠如、それから道徳性の欠如、社会的使命の喪失などで、正義とか、公正とか、安全への信頼が失われ、社会の活力も低下していると感じている。我が国では約60年ぶりに教育基本法の改正をし、社会総がかりの教育をしていくという印象が強く受け取れる。義務教育の9年間を終えたならば、社会人としての最小限の知識、常識、倫理観、道徳観は身につけてほしいという思いを持って定められており目標が達成できるよ

うに頑張っていかなければならないと考えている。

町長の姿勢を問う

町長／トップとして努力する

指名競争入札や随意契約の欠点を幾度となく指摘してきたが「今後の課題」とか「取り組みたい」とその場しのぎで進展しない。人は誘惑に弱い。防衛省汚職みたいなゴルフ接待や異常な随意契約などの疑いが出た場合、徹底調査し処分する条例を定めるべきだ。

家入町長

町内における失業者問題や大災害時における町

と町内の建設業との緊密な連携も必要であり急激な改革をすると大半の業者は今のところ対応できない状況と見ている。今後とも検証して段階的に慎重に進めていかなくてはならないと思っている。また条例を制定せずとも悪行は法的に裁かれる。今後も職員の指導をしながらか自分もトップとしてそのようなことのないように努めていかなくてはならないと思っている。



ほとんど指名競争入札の公共事業

高齢者の人権を踏みに じる後期高齢者医療

町長／本当に困る人に支援を



荒木 俊彦議員

来年4月から65〜74歳の方は「前期高齢者」、75歳以上になると「後期

高齢者」に区分される。改悪医療保険制度は、高齢者を年齢別に区分するだけでなく「現代版の姥捨て山制度」（厚生労働省の元幹部発言）とまで言われている。

● 主な問題点は

● 70〜74歳の人は、窓口負担が1割から2割に。

● 75歳以上の人は、後期

高齢者医療保険料が年金から天引きされる。平均月額約6400円。年金額が月15000円以下の人は窓口払いだが、保険料を滞納すると保険証がとりあげられる。

● 高齢者の医療費に限度枠を設けて、アメリカのような差別医療制度を目指している。

高齢者の人権を踏みにじる、とんでもない制度だ。町長の見解は？

家人町長

後期高齢者の保険料は、2人世帯で今の国保税より若干軽減になると試算している。この制度は「高齢者の医療の確保に関する法律」で定めてあり、町単独の判断はできないが、広域連合で関係者の意見を反映させる懇談会を設置する予定だ。

保険料納付で本当に困っている人については県と市町村とで連携して施策、支援を考えなくてはならない問題だ。

補助金報告に領収書を

監査委員／実費支給の方向で

町が支出している同和団体への補助金を例として補助金の支出が適正であるかどうか問いたい。

① 部落解放同盟の報告書には旅費、宿泊費などの領収書の添付がない。監査委員に意見を聞きたい。

② 報告書に実費の領収書

を添付させるよう補助金交付規則を改めて、補助金の使いみちを堂々と明らかにするべきでは。

集落営農は 成り立つか？

産業振興課長／
国に要望を出していく



カントリーエレベーター

営農組織は5年以内の法人化となっているが、経営が成り立つ見込みは？

大塚産業振興課長

今年から、米・麦・大豆などを中心とした品目横断的経営安定対策事業が始まった。中でも集落

問題点として例えば、麦・大豆の交付金の支払い時期、豊作でも交付金に反映されないという問題、集落営農の将来の法人化問題などがあり、今後、集落営農組織の協議会を通じて要望を国に出していきたい。

● 富森監査委員

ご指摘の、部落解放同盟大津支部の補助金報告書を基に検査を行った範囲においては、特段の問題はなかった。領収書の添付について、監査の時点では、宿泊、航空機利用の半券等の領収書の確認はしていない。19年度からは、実費支給で指導されていると聞いている。

● 家人町長

全国の自治体の補助金交付規則を調べたが、事業実績報告において、領収書の添付義務を明確に定めている実例は見当たらない。町の基準を17年11月に策定し、交付方法などを検討している。



後期高齢者医療保険制度は20年4月から始まる



大田黒英生議員

町における地域間格差はないか

町長／地域をおこし、格差をなくし、住んでいただける町づくりをすすめる



J R 瀬田駅

今日日本全国で地域間格差が問題となり議論されているが、大津町においても役場を中心とした町部と南部、北部において格差が生じていると思われる。確かに人口3万人の町として新たなスタートを迎えたが、南部、北部においては人口が減少しており、再びマンモス化した大津小学校の児童数の増大でわかる様に地域間の格差が生じている。町長はどの様に感じているか、お聞きしたい。

家入町長

議員、ご心配されております様に、北部地区、南部地区の一部の集落につきましては、高齢化率が35%以上の集落が見えてきている。美咲野、引水の東の方の地域、新あるいは室小学校周辺等に新しい住宅、アパートなどが出来、そのため、大津小学校のマンモス化に対応するため、今、校区の見直しをお願いしているところである。今、日本の状況をみると、国際競争

争とともに、地域間競争というような形になってきており、各都道府県におきまして、皆さんが努力されておられますので日本における格差も縮まってきているというふうに思う。一番大切なのは企業誘致で、働ける場所を我々は作っていかねければならない。

現在、北部畑総地帯においては企業を1社誘致を進めており、又、東小学校区域においては、菊阿中学校跡地に、地元企業の方に進出をお願いしながら、地域の雇用に役立てていただきたいと思っています。

北部、南部については厳しい状況ですが、集落排水とかの、インフラを整備し、道路関連等についても、しっかりと安全な道路を造ることによって、都会から、あるいは町外の皆様がそこに住んでいただけるような町づくりをし、地域をおこし、格差をなくしていきたい。

住居地域周辺の枯草火災の心配はないか

町長／被害をおさえるよう対応していく

家入町長

過去の枯草火災の発生を調べたところ平成18年6件、19年の11月末で11件で時期は、秋口や冬場が多く、原因としては、焚き火の後始末、たばこの不始末等が原因のようである。宅地関係の空き



冬場の枯草は危険

これから火を取り扱うことが多くなるが、住宅団地周辺に住家と背中合わせの枯草のある荒地を見かけるが、火災が発生したら住家も火災になる危険性が充分にある。私が見て回ったところ、杉水地区の桜丘団地はその危険性は大きい。どの様な指導をなされているか、お聞きしたい。

地の雑草関係については、それぞれ地権者の方に連絡し刈り取りをお願いし、また、美咲野についてはJRで除草がなされている。被害が最小限に、迅速な消火が出来る様対応をしていく。

旧57号線での交通渋滞が心配 (駅前楽善線)

町長／大津バイパスへの、迂回路を考えている

駅前楽善線が楽善方面から大津駅北口まで完成したとして

① 交差する旧57号線で交通渋滞するのではないかな。

② 大津駅北口から大津バイパスまで、どのようにして車を流すのか。

③ 20年度はどこまで予算計上するのか。



坂本 典光議員

① 通過交通（行先が町の中心部でない）関係の車輛については、東側は美咲野方面から南下し、西側は本田技研の南通りから325号線へ抜けてもらう予定。

② 役場の南側に一本道路を通したい。駅からオークスプラザの間を通って県道矢護川線

（通称中学通り）へ流したい。

西側は駅から鉄道沿いに桜町を通過して途中から踏み切りを渡り、57号線に繋げたい。

上井手から北側については10年近くかかる。その中で付属する交通体系として完成させたい。

③ すでに19年度から駅前楽善線関連の交付金事業を進めている。大体23年度までの5カ年を予定している。20年度はその流れの中での予算計上となる。



肥後大津駅周辺の道路計画

利用者の意見をよく聞くこと（大津地区公民館分館の建て替えについて）

町長／室町北部高台に集会所が必要

① 駅前楽善線が通るため大津地区公民館分館は取り崩しになる。建て替える必要性はあるのか。

② どうして室住宅の跡地に建設するのか。

③ どれくらいの規模か。

④ 予定地は高台にあるため歩いて行きづらいとの苦情がある。

⑤ いつ建てる（予算計上）のか。



大津地区公民館分館

① 近くに室公民館があるが老朽化している。18年度の利用者が2万875名あった。建て替える必要と考える。

② 室住宅跡地は役場の土地だから用地買収の必要がない。

室町の北部高台は住宅が増えているが、集会所がない。

③ 同じくらいの規模を考えている。

④ 町道の付け替えや翔陽高校の生徒が通っている塔ノ坂線の改良も考えている。その道路からの進入路も考えている。いずれにしろ急な坂道でなく、利便性のよい道路が必要。

⑤ 平成20年度に地質調査

その他の質問

高齢者を対象としたプール建設について

や実施設計を行い、21年度には建設工事を予定している。施設整備等は約2億円、進入路については8mの町道にしたい。

教育行政を問う

教育長／スムーズに移行出来るよう
予算措置等に頑張る



鈴木ムツヨ議員

1. 学習指導要領の改定によりゆとり教育が見直され、総合的な学習の時間が削られ主要5教科に振り分けられる。特色ある学校づくりが進められ総合的な学習時間に普段体験できない体験をし成果があるが今後の影響は。小学校5、6年生への週1回英語の授業が義務付けられる。誰が担当するのか。移行は平成21年の見通し、町独自の教育方針はあるか。

宮崎教育長

1. 生きる力の育成はそ

2. 教師の多忙により生徒や保護者、教師の家族にまで影響を及ぼしていることについて、どう考えているか。部活の時間も多忙の一因、適正な部活のあり方の指導はされているか。
3. 休職者へのサポートはどうなっているか。
4. 2学期制導入の成果はどうなっているか。



児童館 ドンドヤ

のまま引き継がれ、確かな学力の育成が打ち出され授業時数の増加や中学校では、武道教育の必須、伝統芸能や郷土学習等が盛り込まれている。スムーズに移行出来るよう研修や予算措置に頑張る。
2. 定時退勤日を各学校で決め実施するよう指導しているが現実には厳しいようだ。
3. 中学校に相談員を派遣し町にも相談室を設けている。校長は定期的にその先生や家族と面会している。
4. 先生方の意識改革がなされ学校が活性化し学力も全国平均を上回ってきた。

特定健康診査と特定保健指導の具体案と費用負担は

町長／広報活動をし健診率を上げる

平成20年4月より新たに特定健康診査、特定保健指導が義務付けられる。糖尿病等の生活習慣病に関する健康診査及びその結果により保健指導を実施するもの。特に内臓脂肪蓄積に関するメタボリックシンドロームである。腹囲を測り、男性85センチ、女性90センチの人が、特定保健指導対象者である。結果についても生活習慣

メタボリック症候群の診断基準

* 胸囲りが男性85cm以上 女性90cm以上

- ① 中性脂肪 150mg/dl以上かつ／またはHDL コレステロール40mg/dl未満
- ② 上の血圧130mmHg以上かつ／または下の血圧85mmHg以上
- ③ 空腹時血糖110mg/dl以上



胸囲り+①～③の中から2つ以上持っていればメタボリック症候群です。

家入町長

健康指導関連等に向け5カ年の特定健康保健審査実施計画の策定を行い準備を進めている。今後、十分な対応をやる為保健師、あるいは管理栄養士等の設置も考慮

慣病のリスクの要因の減少、医療費の減少に対する評価がされ、医療費が下がらないと市町村医療保険者にペナルティーが科せられる。現在の基本健康診査の状況と今後の方針は。

中。費用負担は、国、県から3分の1の補助がある。しかし実際の健診単価予定額と大きな差があり、国保財政に影響を与える可能性がある。個人負担は、これ迄程度の負担をお願いする予定。平成19年は40歳以上の対象者8126人に対し、約30・5%の2475人が受診。広報は、いろんな場面で健康になっていただくための活動をやっていきたい。

街の緑化推進対策は

町長／行政・企業・住民と一体で
緑化すすめる



手嶋 靖隆議員

豊かな緑は地球温暖化
防止対策として、国土、
環境、地下水の保全並び
に防火性向上、自然と人

間が共生するのに不可欠な要素がありますので、町独自の緑化推進要綱なるものを設定し、CO₂削減の一助となる取り組みが肝要と思うが、環境整備について見解を伺いたい。

家入町長

町におきましては広葉樹の森づくりや環境の森構想に基づいて、周辺自



地球環境を守るためにも緑化をすすめたい

治体や企業などの協力を得ながら、植林がなされている。また、平成元年度から、日本一のつつじの里を目指し、毎年3千本程度を自治会や教育施設、福祉施設などに無料配布している。これらの事業については、年間90万円程度を計上して推進している。今後、ご質問のように、一般地域に取り入れるような生垣等については、今、我々がやっている事業が一定の

成果を挙げた後、再度検討させていたきたい。特に地球温暖化の取り組みは最も重要なことであり、今の豊かな自然を守り育て、後世に引き渡すことは、私たちの世代に与えられた責任であると考えている。今後の環境基本計画の策定にあたっては、行政と企業、住民と一体となった緑化推進を盛り込みながら、推進していきたい。

児童・生徒の放課後 及び休日の生活指導

教育長／学校・家庭・地域一体で
取り組む

子どもたちの放課後、休日の行動について実態をどのように把握され、生活指導に取り組まれているのか。児童遊園地を含める子ども遊び場について、防犯対策をどのように指導されているのか。今後どのような方針をお持ちなのか伺いたい。

宮崎教育長

休日前、金曜日や長期休業日の前などは、学校で全校集会や、各学級毎に危険な場所や危険な遊び、不審者への対応、交通事故防止などについても詳しく指導をしている。また、学級、学校便り等を使って、家庭へも協力

難視聴聴覚者支援の 考えは

教育長／当面は手話通訳で対応

聴くことの不自由な方への配慮として、生涯学習センター（文化ホール）の座席の一部にイヤホンの設置により福祉支援の一助になるかと思うので、設置改善出来ないか所見を伺いたい。

宮崎教育長

難聴者支援の一環として文化ホールでの対応の状況は、講演会などでボランティアによる手話通訳を主催者団体に配慮していただき、また、先日行われた、話される文を書いていける速記通訳というような対応を考えている。



障聴者のための
聴覚機器
の貸出
図書

を呼びかけている。実態の把握については、生徒指導上の問題等で喫煙や不良行為などを見かけた場合は、学校に連絡を願っている。特に不審者情報などは、教育委員会から速報で各学校へ

ファックスを流し注意を呼びかけている。放課後及び休日の生活指導については、校長会等での呼びかけや、文書などで、各学校に徹底するように指導している。



藤森昭二朗議員

若い人が住みたい 地域づくりについて

町長／地域の皆さんと、意見交換
をしながら

日本の人口も減少している。限界集落という言葉も、よく聞く。大津町でも空き家がある。若い人、子どもが少なくなつたと聞く地域もある。逆に町の中心地は増えて、

全体的には、県でも有数の人口増である。バランスよい町づくりが必要であるかと思う。若い人が住みたい地域づくりはどう考えているか。

家入町長

今日において、若い人が住みつくとすることは、厳しい状況でもある。そこにはバランスよい遊ぶ場所、楽しい場所をつくることと働く場所をつくることを一緒に考えなくては、住みつくことは難しいのだと思っている。

地域担当職員、地域の皆さんと、何が悪いのか、何がいいのかを活かし、まずもって、地域の皆さんと、意見交換を十分取り入れながら、地域おこしをやっていききたい。

共働きの家庭に自動食器洗い機の補助を

町長／一応考えていない

現代の時勢は、女性が仕事をして働かなくては、成り立たない社会である。それなのに、朝早く起き、朝食の用意に始まり、子どもの世話、仕事、食事の後片付け、食器洗い、

共働きで、子育て中の女性には相当の負担であると思う。食器洗い機があれば、だれでも、手伝いができる。一日一度まとめて洗うこともできる。補助する考えはないか。

家入町長

若い人の中においての夫婦共稼ぎというような形を見ますとやっぱり必要になるかと思うけれども、文化生活に慣れると大変な事になるかと思う。

鉄も熱いうちに叩けば、剣になると言われるように、やはり人間もあまり楽するのはいかがかなと思う。補助制度については一応考えていない。



自動食器洗い機

町民の健康づくり について

町長／職員の指導体制を取る



元気にグラウンドゴルフ

高齢化社会に入り、75歳以上の後期高齢者医療制度が始まるにあたり、高齢者の皆さん、元気な体を維持されていって下さいという保健の始まりではないかと思う。人は体を動かすことで、健康が保たれるものでは。そのためにも、町はどのよ

うな、健康づくりのアドバースをしようと思っているのか。大津町は64地区から成り立っている。各地区にはあまりお金をかけず、気づかぬ健康づくりの場もあるかと思う。各地区の健康づくりの宝を掘り起こす考えはないか。

家入町長

国としては健康維持するために、第一に予防に力を入れて行きたいようである。その辺も十分検討しながら、職員の指導

体制もしっかりと今後取りながら、体の動ける元気な老後が楽しみなような方向へ我々も頑張っていかななくてはと思っています。